

CGOS CGR 1000 のバックホール マネージャ スクリプトを実行して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[スクリプトを実行するステップ](#)

[ログ Output](#)

概要

この資料に ConnectedGrid オペレーティング システム (CGOS) によって接続されたグリッドルータ (CGR1000) の bhmgr.tcl スクリプトを Cisco 1000 シリーズ実行する方法を記述されています。バックホールはヘッドエンド ルータ (彼女) に再び接続する IPSec トンネルを示します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この資料は CGR1000 シリーズ ルータの CGOS バージョンのために制限 されます; CGR1120、CGR1240。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

通常 CGR はプライマリ接続として 3G 接続とのリモートエリアにあります。トラフィックをデータセンターに保護するために、CGR は IPSec トンネルを使用します。その結果、バックホー

ルとして IPSec トンネルを考慮して下さい。リンク問題がある場合 bhmgr.tcl スクリプト場合の正しいセットアップ、バックホールの接続を再起動する試み。たとえば、3G カード 接続はむらがあります。インターフェイスがスタックしている得ることができるのでバックホール スクリプトはリカバリにリンク CGR の 3G モジュールをリロードできます。このプロシージャが不成功である場合、スクリプトは最終的な解決策として CGR をリポートするように試みます。

スクリプトを実行するステップ

1. どんなインターフェイスがモニタである必要があるか判別して下さい。通常トンネルがに戻って接続を彼女形成するので、backhual IPSec トンネルを監視する必要があります。また、どんなインターフェイス トンネルをか形成する IPSec トンネル 使用判別する必要があります。たとえば ; Ethernet2/1 は主要な接続であり、トンネル 0 は IPSec トンネルです。

2. 環境変数を設定して下さい。設定されなくてある特定の環境変数だけ、他の物ですデフォルト必要となります。詳細はスクリプト自体を読むことから見つけることができます。デフォルトで、インターフェイス リセットは 360 分毎にされ、リロードはタイマーが切れる 720 分にされます。

環境変数	説明
bh_iflist	バックホール スクリプトが管理するインターフェイスを参照します。
bhmgr_track_obj_instance	トラック オブジェクト ルータで設定される。この数は例数を一致する必要があります。
eem_dbg_level	第 2 イネーブル 記録の設定。これが設定されない場合、ログは設定されません。

たとえば;

```
event manager environment bh_iflist "eth2/1 tunnel0"
event manager environment bhmgr_track_obj_instance "1"
event manager environment eem_dbg_level "2"
```

3. IP 秒 トンネルを指すためにトラック オブジェクトを設定して下さい。これとして使用トラック 1 は EEM アプレット 設定部分の間にステップ 4 のために設定しますあります。

たとえば;

```
track 1 interface tunnel0 line-protocol
delay up 120 down 120
```

4. EEM アプレットのオブジェクト 1 をトラッキングするのにこの設定を使用して下さい。

たとえば;

```
event manager applet bhmgrbhdwn
event track 1 state down
action 1.0 syslog priority critical msg Backhaul is down
action 2.0 cli tclsh volatile:bhmgr.tcl bhmgr_process_bh_down
action 3.0 cli command maximum-timeout
event manager applet bhmgrbhup
event track 1 state up
action 1.0 syslog priority errors msg Backhaul is up
action 2.0 cli tclsh volatile:bhmgr.tcl bhmgr_process_bh_up
action 3.0 cli command maximum-timeout
```

5. バックホール マネージャ スクリプトは CGOS で統合、揮発パーティションにあります。バックホール スクリプトが抜けている場合、揮発パーティションに bhmgr.tcl を置いて下さい。

6. 設定の bhmgr_monitor をスケジュールして下さい。これが動作すれば、スクリプトはステップ 2. で設定された環境変数を設定します。環境変数が見つけれなくて示す場合、スクリプトはデフォルト設定をスクリプトの内で設定するのに使用します。

たとえば;

```
scheduler job name bhmgr_monitor
tclsh volatile:/bhmgr.tcl bhmgr_monitor
```

出力 :

```
    eem_dbg_level : 2
```

```
    eem_dbg_level : 2
```

```
    bhmgr_track_obj_instance : 1
```

```
    bhmgr_track_obj_instance : 1
```

```
Environment variable not found
```

```
Environment variable not found
```

7. 定期的に動作するためにスクリプトをスケジュールして下さい。

たとえば;

```
scheduler schedule name bhmgr_monitor_schedule
job name bhmgr_monitor
time start now repeat 0:0:10
```

ログ Ouput

IPSecトンネルが稼働しているとき、ロギング出力はバックホールが稼働していることを示します。IPSecトンネルがダウンしているとき、ロギング出力はバックホールがダウンしていることを示します。段階的に行なうの時に、カウンターは 0 に減少し、ルータのインターフェイスまたはリロードのリセットを実行し始めます。バックホールがオンライン戻る場合、デフォルト値へのカウンター リセット。

IPSecトンネルがオンラインのとき、ロギング出力はバックホールが稼働していることを示します。ロギング出力が示すときバックホールは、IPSecトンネル ダウンしていますダウンしています。カウンターは減少し始めます:

```
2017 Mar 20 18:36:35 AST05-CGR %EEM_ACTION-3-ERROR: Backhaul is up
```

```
2017 Mar 20 18:36:36 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: Backhaul is up
```

```
2017 Mar 20 20:29:02 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: Backhaul is down
```

```
2017 Mar 20 20:29:40 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 29 mins and 23 sec to BH Reset
```

```
2017 Mar 20 20:29:40 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 59 mins and 23 sec to RELOAD
```

BH リセットのためのカウンターが 0 にダウン状態になれば、バックホール マネージャ スクリプトはログ 出力が見つかる BH リセット ポリシーを示すときインターフェイスをリセットするよう

に試みます:

```
2017 Mar 20 17:43:33 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 7 mins and 57 sec to BH Reset
2017 Mar 20 17:43:33 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 37 mins and 57 sec to RELOAD
2017 Mar 20 17:43:34 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 17:43:35 AST05-CGR last message repeated 2 times
2017 Mar 20 17:43:35 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 7 mins and 55 sec to BH Reset
2017 Mar 20 17:43:35 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 37 mins and 55 sec to RELOAD
2017 Mar 20 17:53:36 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 17:53:37 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: BH Reset policy hit
2017 Mar 20 17:53:37 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 17:53:38 AST05-CGR last message repeated 1 time
2017 Mar 20 17:53:38 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: Performing module 2 reload in 30
seconds.
```

リロードのためのカウンターが 0 にダウン状態になれば、バックホール マネージャ スクリプトはログ 出力が見つかる BH リロード ポリシーを示すときルータをリロードするように試みます:

```
2017 Mar 20 18:04:18 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 49 mins and 55 sec to BH Reset
2017 Mar 20 18:04:18 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 17 mins and 12 sec to RELOAD
2017 Mar 20 18:04:19 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 18:04:20 AST05-CGR last message repeated 2 times
2017 Mar 20 18:04:20 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 49 mins and 53 sec to BH Reset
2017 Mar 20 18:04:20 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 17 mins and 10 sec to RELOAD
2017 Mar 20 18:14:21 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 18:14:22 AST05-CGR last message repeated 2 times
2017 Mar 20 18:14:22 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 39 mins and 51 sec to BH Reset
2017 Mar 20 18:14:23 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 7 mins and 8 sec to RELOAD
2017 Mar 20 18:14:24 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 18:14:24 AST05-CGR last message repeated 1 time
2017 Mar 20 18:14:24 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 39 mins and 49 sec to BH Reset
2017 Mar 20 18:14:24 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 18:14:25 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 7 mins and 6 sec to RELOAD
2017 Mar 20 18:24:26 AST05-CGR %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from vty by admin on
scheduler
2017 Mar 20 18:24:27 AST05-CGR last message repeated 2 times
2017 Mar 20 18:24:27 AST05-CGR %EEM_ACTION-2-CRIT: bhmgr: 29 mins and 46 sec to BH Reset
2017 Mar 20 18:24:27 AST05-CGR %EEM_ACTION-0-EMERG: BH RELOAD policy hit. Performing reload in
30 seconds
```